

平成 13 年愛知県人口動向調査

名古屋市の世帯数と人口

-1 人口は 2,177,451 人、3 年連続で最大人口を更新

平成 13 年 10 月 1 日現在の本市の人口は 2,177,451 人で、平成 12 年の 2,171,557 人を 5,894 人上回り、平成 11 年以降 3 年連続で最大人口を更新した。このうち男は 1,082,741 人、女は 1,094,710 人で、男女とも過去最高の値となっている。

[附表 1-1、図 1-1]

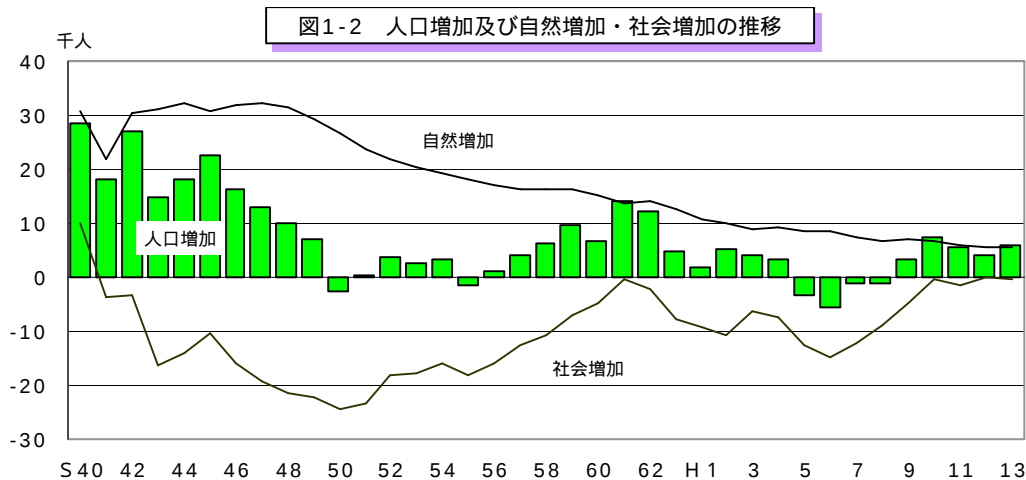
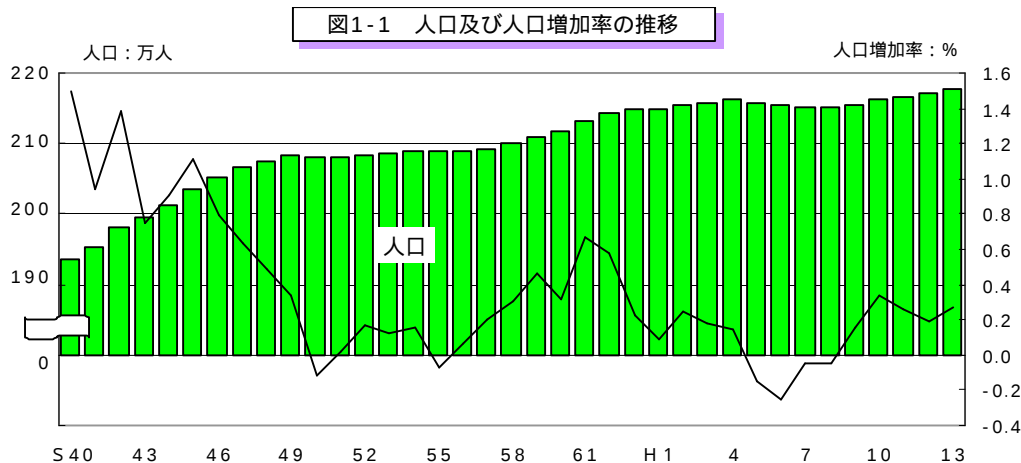
この 1 年間の人口増加数は 5,894 人、人口増加率は 0.27% で、5 年連続のプラスとなったが、昨年の増加率よりも 0.07 ポイント上回っている。このうち男は 1,647 人(増加率 0.15%)、女は 4,247 人(同 0.39%) 増加している。

[附表 1-1、図 1-1、図 1-2]

人口増加のうち自然増加は 5,442 人で、昭和 47 年のピーク時から減少傾向が続いている。そのうち出生数は 20,835 人で、3 年連続で減少しており、死亡数は 15,393 人で、4 年連続で増加している。

また社会増加は 441 人のマイナスで、そのうち転入数は 95,488 人と 3 年ぶりの増加となった。一方、転出数は 95,929 人と 7 年ぶりの増加となった。

[附表 1-1、図 1-2]



本市の昭和 50 年以降の人口は、1 万人以上の転出超過が続いたのに加え、出生数の減少により自然増加が縮小し、人

口増加が頭打ちとなった。昭和 50 年代後半から昭和 60 年代初めには、ドーナツ化現象の沈静化と相まって大都市への

人口再流入の兆しがみられ、昭和 61、62 年には年間 1 万人以上の人口増加となったが、その後再び転出超過の傾向が拡大し、平成 5 年には 13 年ぶりに人口減に転じた。

しかし、平成 6 年を底にして転出超過は急速に回復し、平成 9 年には 5 年ぶりに人口増加となり、さらに今年は 3 年連続で最大人口を更新した。 [附表 1-1、図 1-1]

附表 1-1 全市の人口及び社会増加・自然増加の推移

各年前年10月～当該年9月

年 別	人 口	男	女	転 入 数	転 出 数	社会増加数	出 生 数	死 亡 数	自然増加数	人口増加数
昭和 40 年	1,935,430	987,969	947,461	118,871	108,820	10,051	40,265	9,532	30,733	28,599
41	1,953,644	995,406	958,238	114,273	118,005	-3,732	31,436	9,490	21,946	18,214
42	1,980,696	1,008,880	971,816	115,454	118,787	-3,333	39,972	9,626	30,346	27,052
43	1,995,536	1,008,273	987,263	119,742	135,969	-16,227	41,213	10,134	31,079	14,840
44	2,013,621	1,017,118	996,503	130,366	144,609	-14,243	42,233	9,922	32,311	18,085
45	2,036,053	1,033,153	1,002,900	130,541	140,919	-10,378	41,082	10,178	30,904	22,432
46	2,052,173	1,039,208	1,012,965	132,719	148,551	-15,832	42,000	10,017	31,983	16,120
47	2,065,245	1,037,456	1,027,789	123,755	143,049	-19,294	42,598	10,233	32,365	13,072
48	2,075,249	1,039,067	1,036,182	126,543	148,099	-21,556	41,963	10,413	31,550	10,004
49	2,082,235	1,040,741	1,041,494	114,664	136,886	-22,222	40,113	10,898	29,215	6,986
50	2,079,740	1,047,004	1,032,736	106,628	131,199	-24,571	37,417	10,757	26,660	-2,495
51	2,080,050	1,045,503	1,034,547	99,373	122,695	-23,322	34,325	10,647	23,678	310
52	2,083,616	1,045,796	1,037,820	101,512	119,663	-18,151	32,484	10,726	21,758	3,566
53	2,086,118	1,046,049	1,040,069	101,292	119,203	-17,911	31,162	10,753	20,409	2,502
54	2,089,332	1,046,784	1,042,548	99,769	115,856	-16,087	29,841	10,540	19,301	3,214
55	2,087,902	1,045,892	1,042,010	98,154	116,208	-18,054	28,907	10,885	18,022	-1,430
56	2,089,163	1,045,817	1,043,346	94,663	110,686	-16,023	28,019	11,131	16,888	1,261
57	2,093,416	1,047,278	1,046,138	93,697	106,332	-12,635	27,319	11,094	16,225	4,253
58	2,099,830	1,050,070	1,049,760	93,217	103,999	-10,782	27,384	11,135	16,249	6,414
59	2,109,600	1,054,376	1,055,224	90,868	97,772	-6,904	27,591	11,356	16,235	9,770
60	2,116,381	1,057,339	1,059,042	90,983	95,772	-4,789	26,619	11,302	15,317	6,781
61	2,130,632	1,064,549	1,066,083	94,998	95,258	-260	25,597	11,903	13,694	14,251
62	2,142,896	1,070,904	1,071,992	94,328	96,675	-2,347	25,775	11,801	13,974	12,264
63	2,147,667	1,073,464	1,074,203	91,099	98,827	-7,728	25,006	12,434	12,572	4,771
平成 元 年	2,149,517	1,074,037	1,075,480	92,571	101,728	-9,157	23,638	12,963	10,675	1,850
2	2,154,793	1,077,602	1,077,191	91,800	102,513	-10,713	23,025	12,996	10,029	5,276
3	2,158,784	1,080,217	1,078,567	97,531	103,753	-6,222	22,543	13,528	9,015	3,991
4	2,162,007	1,082,075	1,079,932	95,600	103,036	-7,436	23,018	13,597	9,421	3,223
5	2,158,713	1,080,177	1,078,536	92,109	104,866	-12,757	22,212	13,842	8,370	-3,294
6	2,153,293	1,076,333	1,076,960	90,963	105,808	-14,845	22,208	13,832	8,376	-5,420
7	2,152,184	1,073,655	1,078,529	91,864	104,070	-12,206	21,983	14,470	7,513	-1,109
8	2,151,084	1,072,916	1,078,168	91,669	100,574	-8,905	21,162	14,440	6,722	-1,100
9	2,154,376	1,074,510	1,079,866	94,988	99,803	-4,815	21,363	14,395	6,968	3,292
10	2,161,680	1,077,911	1,083,769	96,288	96,638	-350	21,444	14,809	6,635	7,304
11	2,167,327	1,080,129	1,087,198	94,323	95,814	-1,491	21,399	15,356	6,043	5,647
12	2,171,557	1,081,094	1,090,463	94,168	94,251	-83	20,858	15,363	5,495	4,230
13	2,177,451	1,082,741	1,094,710	95,488	95,929	-441	20,835	15,393	5,442	5,894

- 注1) 昭和40年、45年、50年、55年、60年、平成2年、7年、12年の人口は、国勢調査結果による。(各年10月1日現在)
 2) 転入数、転出数及び社会増加数は、市外との移動数のみであり、社会増加数と自然増加数の合計は人口増加数と一致しない。
 3) 人口増加数は、当該年10月1日人口から前年10月1日人口を差引いたものである。

-2 区別人口のトップは中川区、増加数のトップは緑区

平成 13 年 10 月 1 日現在の区別の人口をみると、トップが中川区の 211,232 人で、次いで緑区の 209,261 人、北区の 167,027 人の順となっている。中川区、守山区、緑区の 3 区は過去最高となっている。

一方人口が最も少ないのは熱田区の 62,975 人、次いで中区の 65,508 人、東区の 66,155 人の順となっており、熱田区と比べると中川区は 3.4 倍の人口規模となっている。

人口増加数をみると、計 10 区がプラスの値を示しており、そのうち緑区が 2,397 人と最も多く、次いで守山区が 1,528 人、中川区が 1,250 人、千種区が 1,058 人となっている。緑区は一戸建、千種区は共同住宅(マンション)、守山区及び中川区ではその両方の供給戸数が多く、更に千種区以外の 3 区では自然増加も大きいことが、人口増加に寄与しているものと思われる。

が進む区と減少が進む区の二極分化はひとまず沈静化しているように見うけられる。 [附表 1-2、附表 1-4、図 1-3]

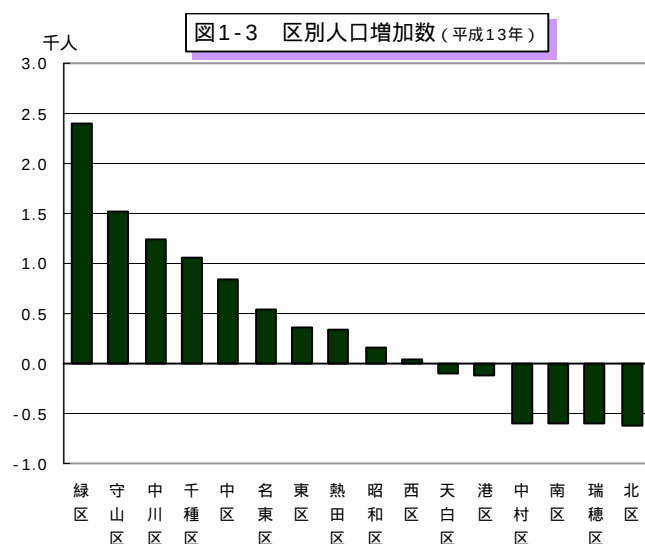
各年10月1日現在

区 别	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	2,149,517	2,154,793	2,158,784	2,162,007	2,158,713	2,153,293	2,152,184	2,151,084	2,154,376	2,161,680	2,167,327	2,171,557	2,177,451
千 種 区	158,849	156,478	155,485	154,047	151,511	149,811	148,847	148,428	147,918	147,762	147,843	148,537	149,595
東 区	69,621	69,032	68,411	67,975	67,090	66,645	66,096	65,889	65,139	65,373	65,398	65,791	66,155
北 区	172,826	172,559	172,999	173,590	173,457	172,451	171,582	170,718	170,030	169,925	168,969	167,640	167,027
西 区	142,141	141,384	140,233	140,084	139,213	138,739	139,106	138,486	138,978	138,952	139,637	140,364	140,403
中 村 区	147,880	146,379	144,946	144,010	142,861	141,465	140,519	139,410	138,037	137,094	135,811	134,955	134,365
中 区	66,266	65,833	65,299	64,915	64,081	62,999	63,006	62,605	62,643	63,012	63,404	64,669	65,508
昭和区	107,367	106,857	106,201	105,814	105,358	104,239	104,293	104,252	104,712	105,157	105,584	105,289	105,458
瑞穂区	111,748	111,360	110,870	109,798	108,722	107,208	106,299	105,832	105,571	105,517	105,279	104,410	103,806
熱田区	65,897	65,794	65,811	66,337	65,871	65,278	65,055	64,556	64,064	64,391	64,045	62,625	62,975
中川区	198,145	200,111	201,665	202,818	204,562	205,518	206,678	206,822	207,555	208,024	208,903	209,982	211,232
港 区	147,736	148,185	148,642	149,277	149,279	150,165	150,538	151,204	150,999	151,361	151,448	151,614	151,485
南 区	159,973	159,709	160,123	159,411	158,422	156,478	154,275	152,428	151,332	150,410	149,376	147,912	147,310
守 山 区	145,010	144,897	146,207	147,634	148,536	149,657	148,919	148,799	150,020	151,401	152,662	154,460	155,988
緑 区	174,613	178,919	181,487	183,243	185,361	188,254	190,936	194,156	198,030	201,188	203,978	206,864	209,261
名 東 区	150,932	152,519	153,559	153,838	153,272	152,615	151,763	150,741	150,439	150,899	152,172	153,103	153,645
天 白 区	130,513	134,777	136,846	139,216	141,117	141,771	144,272	146,758	148,909	151,214	152,818	153,342	153,238

南区は減少幅が昨年より縮小している。 [附表 1-4]

区別の人口順位をみると、平成元年以来、中川区、緑区、北区の順位に変動はみられないが、天白区が昨年の 5 位から 6 位となり、2 年連続で順位を下げている。逆に順位を上げたのは名東区である。

〔 附表 1-3 〕



各年 10 月 1 日現在

[illegible]

附表1-4 区別人口の対前年増加数及び対前年増加率の推移

各年10月1日現在

区 別	対 前 年 人 口 増 加 数						対 前 年 人 口 増 加 率 (%)					
	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	-1,100	3,292	7,304	5,647	4,230	5,894	-0.05	0.15	0.34	0.26	0.20	0.27
千 種 区	-419	-510	-156	81	694	1,058	-0.28	-0.34	-0.11	0.05	0.47	0.71
東 区	-207	-750	234	25	393	364	-0.31	-1.14	0.36	0.04	0.60	0.55
北 区	-864	-688	-105	-956	-1,329	-613	-0.50	-0.40	-0.06	-0.56	-0.79	-0.37
西 区	-620	492	-26	685	727	39	-0.45	0.36	-0.02	0.49	0.52	0.03
中 村 区	-1,109	-1,373	-943	-1,283	-856	-590	-0.79	-0.98	-0.68	-0.94	-0.63	-0.44
中 区	-401	38	369	392	1,265	839	-0.64	0.06	0.59	0.62	2.00	1.30
昭 和 区	-41	460	445	427	-295	169	-0.04	0.44	0.42	0.41	-0.28	0.16
瑞 穂 区	-467	-261	-54	-238	-869	-604	-0.44	-0.25	-0.05	-0.23	-0.83	-0.58
熱 田 区	-499	-492	327	-346	-1,420	350	-0.77	-0.76	0.51	-0.54	-2.22	0.56
中 川 区	144	733	469	879	1,079	1,250	0.07	0.35	0.23	0.42	0.52	0.60
港 区	666	-205	362	87	166	-129	0.44	-0.14	0.24	0.06	0.11	-0.09
南 区	-1,847	-1,096	-922	-1,034	-1,464	-602	-1.20	-0.72	-0.61	-0.69	-0.98	-0.41
守 山 区	-120	1,221	1,381	1,261	1,798	1,528	-0.08	0.82	0.92	0.83	1.18	0.99
緑 区	3,220	3,874	3,158	2,790	2,886	2,397	1.69	2.00	1.59	1.39	1.41	1.16
名 東 区	-1,022	-302	460	1,273	931	542	-0.67	-0.20	0.31	0.84	0.61	0.35
天 白 区	2,486	2,151	2,305	1,604	524	-104	1.72	1.47	1.55	1.06	0.34	-0.07

- 1 世帯数は 90 万世帯を突破、7 年連続 1 万世帯を超える増加数

平成 13 年 10 月 1 日現在の本市の世帯数は 909,232 世帯で、昨年の世帯数を 11,300 世帯上回り、7 年連続で 1 万世帯を超える増加数となった。また、増加率は 1.26% と 7 年連続で 1% を超えており、人口増加率の 0.27% を大きく上回る結果となっている。

戦後、本市の世帯数は一貫して増加し続け、昭和 40 年以降人口が伸び悩むなかでも一定規模の増加を示し、人口が減少に転じた昭和 50 年、55 年、平成 5 ～ 8 年にも増加を示している。そのため 1 世帯当たり人員は縮小を続け、今年は昨年の 2.42 人をさらに下回る 2.39 人となっている。世帯規模が縮小する背景には核家族世帯や単身世帯の増加が考えられるが、今後は特に単身世帯の増加が予想され、世帯規模の縮小傾向は今後も続くと思われる。

[附表 2-1、図 2-1]

附表2-1 全市の世帯数、世帯増加数 各年 10 月 1 日現在

年 別	世 帯 数	対 前 年 世 帯 増 加 数	対 前 年 世 帯 増 加 率 (%)	1 世 帯 当 た り 人 員
昭和 40 年	495,200	10,199	2.10	3.91
45	574,914	13,976	2.49	3.54
50	634,794	13,672	2.20	3.28
55	705,323	58,786	9.09	2.96
56	709,067	3,744	0.53	2.95
57	714,515	5,448	0.77	2.93
58	720,273	5,758	0.81	2.92
59	727,992	7,719	1.07	2.90
60	730,666	2,674	0.37	2.90
61	741,943	11,277	1.54	2.87
62	752,746	10,803	1.46	2.85
63	761,431	8,685	1.15	2.82
平成 元 年	770,363	8,932	1.17	2.79
2	792,080	21,717	2.82	2.72
3	805,693	13,613	1.72	2.68
4	817,207	11,514	1.43	2.65
5	825,105	7,898	0.97	2.62
6	830,766	5,661	0.69	2.59
7	841,083	10,317	1.24	2.56
8	851,083	10,000	1.19	2.53
9	862,348	11,265	1.32	2.50
10	875,242	12,894	1.50	2.47
11	886,435	11,193	1.28	2.44
12	897,932	11,497	1.30	2.42
13	909,232	11,300	1.26	2.39

注) 昭和55年以前と昭和60年、平成2年、平成7年及び平成12年は国勢調査結果による。

図2-1 世帯数及び1世帯当たり人員の推移



附表2-2 区別世帯数の推移

各年10月1日現在

区 別	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	770,363	792,080	805,693	817,207	825,105	830,766	841,083	851,083	862,348	875,242	886,435	897,932	909,232
千 種 区	64,278	64,829	65,385	65,656	65,335	65,112	65,546	66,024	66,645	67,343	67,918	69,458	70,459
東 区	27,093	27,498	27,792	28,011	28,007	28,140	28,225	28,513	28,597	29,108	29,560	30,466	30,950
北 区	62,231	63,267	64,283	65,357	65,997	66,213	66,983	67,599	68,250	69,095	69,316	69,101	69,607
西 区	50,616	51,631	51,919	52,532	52,933	53,431	54,158	54,547	55,487	56,064	56,964	58,367	58,884
中 村 区	54,412	55,535	56,006	56,487	56,899	57,223	57,628	58,204	58,496	59,023	59,087	60,253	60,746
中 区	29,172	29,513	29,908	30,427	30,449	30,242	30,719	30,866	31,358	32,071	32,815	34,428	35,572
昭 和 区	44,404	45,653	45,979	46,572	46,722	46,607	47,570	48,102	48,856	49,610	50,242	50,211	50,694
瑞 穂 区	41,589	42,577	42,831	42,951	42,892	42,691	42,979	43,311	43,648	44,053	44,288	44,484	44,665
熱 田 区	24,114	24,541	25,092	25,698	25,761	25,701	25,980	26,147	26,313	26,767	26,959	26,444	26,852
中 川 区	64,670	66,690	68,283	69,530	71,109	72,200	72,937	73,956	75,009	76,097	77,437	78,636	80,084
港 区	47,882	48,971	49,806	50,660	51,267	52,135	52,706	53,664	54,243	54,894	55,765	56,003	56,676
南 区	55,985	57,576	58,655	59,095	59,302	59,136	58,795	58,680	58,888	59,344	59,578	59,427	59,796
守 山 区	46,494	47,601	48,891	50,030	50,961	51,999	52,256	52,870	53,833	54,997	56,098	57,232	58,382
緑 区	54,848	57,553	59,165	60,281	61,883	63,611	65,257	67,151	69,330	71,177	72,834	73,938	75,424
名 東 区	55,217	57,339	58,753	59,574	59,978	60,307	61,139	61,497	61,991	62,735	63,783	65,032	65,677
天 白 区	47,358	51,306	52,945	54,346	55,610	56,018	58,205	59,952	61,404	62,864	63,791	64,452	64,764

注) 平成2年、7年、12年は国勢調査結果による。

- 2 16 区すべてで世帯数が増加、中区の1世帯当たり人員は1.84人

区別の世帯数では中川区が80,084世帯でトップ、次いで緑区の75,424世帯、千種区の70,459世帯、北区の69,607世帯と続いている。北区をはじめ6区で人口が対前年比マイナスになっているのに対し、世帯数は16区すべてで増加を示している。世帯数が最も増加した区は緑区の1,486世帯で、緑区を含め5区で1千世帯を超える増加数を示している。

[附表2-2]

対前年世帯増加率をみると、中区で3%台、守山区、緑

区で2%台の増加率を示している一方、瑞穂区と天白区では0.4%台の伸びに留まっている。

区別の1世帯当たり人員をみると、16区すべてが減少しており、特に中区は1.84人と昨年の値をさらに0.04人下回った。反対に1世帯当たりの人員が大きいのは緑区の2.77人で、次いで港区と守山区の2.67人となっている。

[附表2-3]

附表2-3 区別世帯数の対前年増加数、対前年増加率及び1世帯当たり人員の推移

各年10月1日現在

区 別	対 前 年 世 帯 増 加 数					対 前 年 世 帯 増 加 率 (%)					1 世 帯 当 た り 人 員				
	H9	H10	H11	H12	H13	H9	H10	H11	H12	H13	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	11,265	12,894	11,193	11,497	11,300	1.32	1.50	1.28	1.30	1.26	2.50	2.47	2.44	2.42	2.39
千 種 区	621	698	575	1,540	1,001	0.94	1.05	0.85	2.27	1.44	2.22	2.19	2.18	2.14	2.12
東 区	84	511	452	906	484	0.29	1.79	1.55	3.06	1.59	2.28	2.25	2.21	2.16	2.14
北 区	651	845	221	-215	506	0.96	1.24	0.32	-0.31	0.73	2.49	2.46	2.44	2.43	2.40
西 区	940	577	900	1,403	517	1.72	1.04	1.61	2.46	0.89	2.50	2.48	2.45	2.40	2.38
中 村 区	292	527	64	1,166	493	0.50	0.90	0.11	1.97	0.82	2.36	2.32	2.30	2.24	2.21
中 区	492	713	744	1,613	1,144	1.59	2.27	2.32	4.92	3.32	2.00	1.96	1.93	1.88	1.84
昭 和 区	754	754	632	-31	483	1.57	1.54	1.27	-0.06	0.96	2.14	2.12	2.10	2.10	2.08
瑞 穂 区	337	405	235	196	181	0.78	0.93	0.53	0.44	0.41	2.42	2.40	2.38	2.35	2.32
熱 田 区	166	454	192	-515	408	0.63	1.73	0.72	-1.91	1.54	2.43	2.41	2.38	2.37	2.35
中 川 区	1,053	1,088	1,340	1,199	1,448	1.42	1.45	1.76	1.55	1.84	2.77	2.73	2.70	2.67	2.64
港 区	579	651	871	238	673	1.08	1.20	1.59	0.43	1.20	2.78	2.76	2.72	2.71	2.67
南 区	208	456	234	-151	369	0.35	0.77	0.39	-0.25	0.62	2.57	2.53	2.51	2.49	2.46
守 山 区	963	1,164	1,101	1,134	1,150	1.82	2.16	2.00	2.02	2.01	2.79	2.75	2.72	2.70	2.67
緑 区	2,179	1,847	1,657	1,104	1,486	3.24	2.66	2.33	1.52	2.01	2.86	2.83	2.80	2.80	2.77
名 東 区	494	744	1,048	1,249	645	0.80	1.20	1.67	1.96	0.99	2.43	2.41	2.39	2.35	2.34
天 白 区	1,452	1,460	927	661	312	2.42	2.38	1.47	1.04	0.48	2.43	2.41	2.40	2.38	2.37

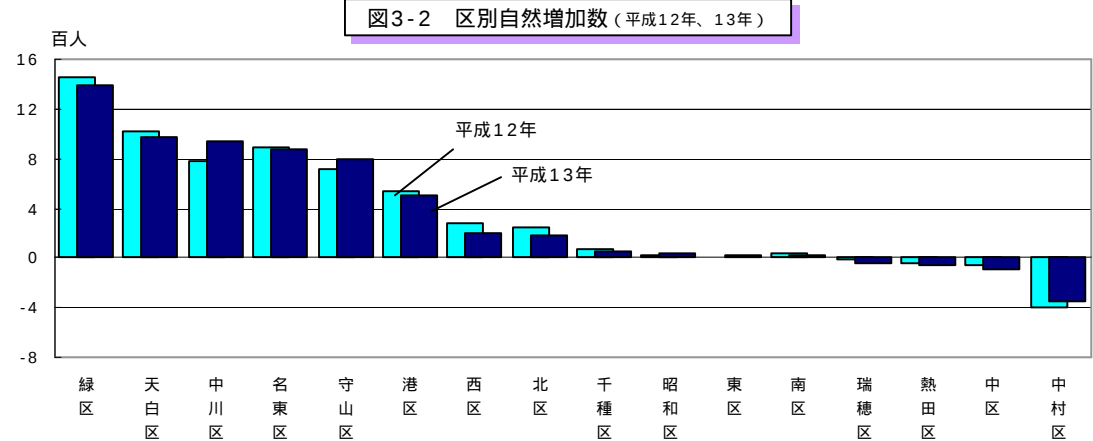
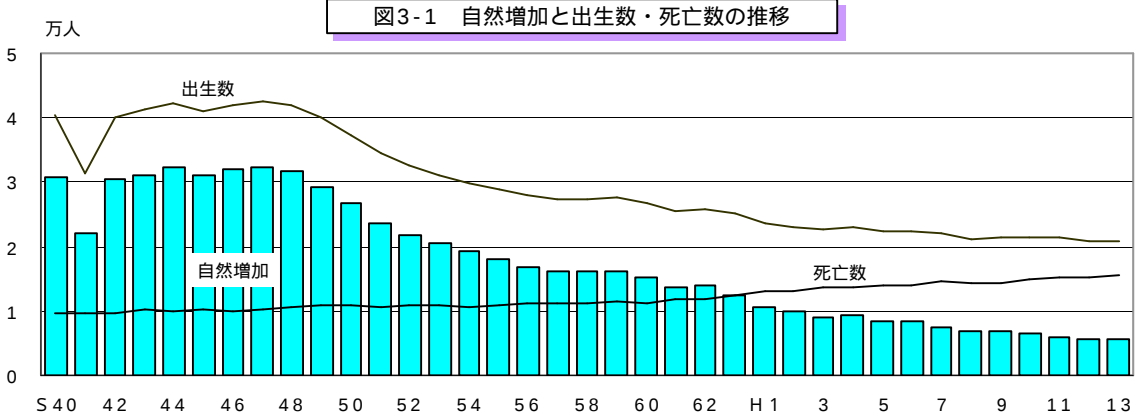
自然増加は 5,442 人、ピーク時の 16.8% に縮小

本市の自然増加は、出生数の漸減と死亡数の漸増により、昭和 47 年の 32,365 人をピークに徐々に縮小してきており、昭和 54 年には 2 万人を、また平成 3 年には 1 万人を割り込み、今年 は 5,442 人となっている。昨年と比べると 53 人の減少で、ピーク時の 16.8% の規模にまで縮小している。

自然増を区別にみると、緑区が最大の 1,384 人で、以下天白区の 977 人、中川区の 944 人、名東区の 880 人の順となっている。反対に自然減となったのは中村区はじめ 4 区で、中村区以外の中区、瑞穂区、熱田区では自然減の幅が昨年よりも大きくなっている。

[附表 3-1、図 3-2]

[附表 1-1、附表 3-1、図 3-1]



附表 3-1 区別自然増加の推移

区 別	各年前年10月～当該年9月												
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	10,675	10,029	9,015	9,421	8,370	8,376	7,513	6,722	6,968	6,635	6,043	5,495	5,442
千 種 区	625	284	306	293	127	204	206	88	88	89	176	70	59
東 区	158	142	117	68	-11	81	22	39	12	45	-41	6	19
北 区	825	833	678	746	636	734	454	406	337	376	323	244	182
西 村 区	318	417	326	367	274	296	405	320	244	258	235	273	197
中 村 区	133	-24	-44	47	-27	-120	-185	-324	-264	-277	-370	-404	-352
中 区	61	39	-45	29	-48	-33	-76	-112	-74	-58	-117	-67	-84
昭 和 区	165	175	103	87	56	57	-15	33	38	13	-20	19	32
瑞 穂 区	317	257	164	195	76	78	-30	-37	-32	-45	-49	-5	-46
熱 田 区	191	113	20	51	101	82	-8	-55	-59	-7	-95	-51	-64
中 川 区	1,204	1,138	1,180	1,254	1,097	1,170	1,141	1,066	1,057	888	962	778	944
港 区	968	1,080	919	846	818	721	698	719	789	732	666	532	505
南 区	534	495	414	408	405	261	296	247	247	82	83	32	19
守 山 区	933	860	882	907	888	902	864	794	862	843	784	712	790
緑 区	1,447	1,409	1,448	1,510	1,413	1,427	1,430	1,356	1,418	1,494	1,404	1,448	1,384
名 東 区	1,532	1,460	1,349	1,336	1,271	1,246	1,129	1,067	1,096	999	943	887	880
天 白 区	1,264	1,351	1,198	1,277	1,294	1,270	1,182	1,115	1,209	1,203	1,159	1,021	977

- 1 市外との社会増減はマイナス 441 人、転出超過が拡大に転じる

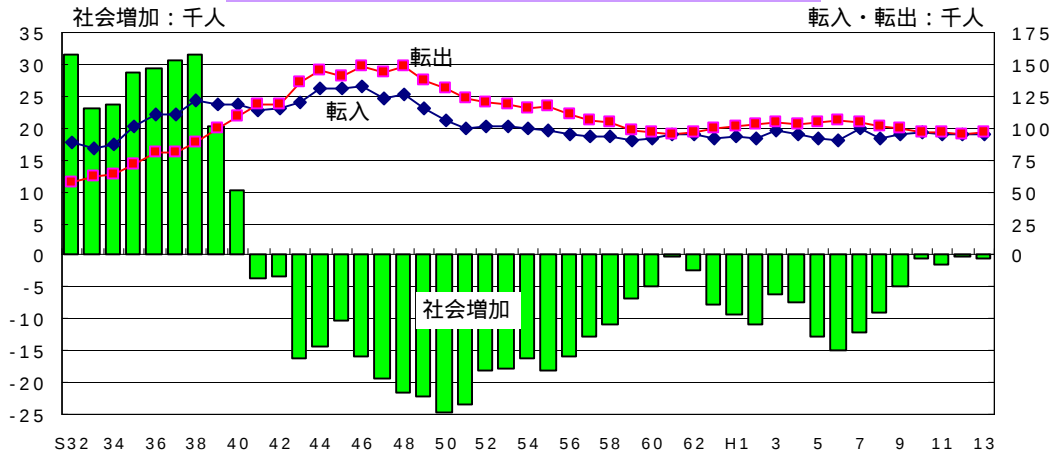
平成 13 年の市外との社会増加は、転入数が 95,488 人、転出数が 95,929 人で 441 人の転出超過となった。昨年と比べ転入数が 1,320 人、転出数が 1,678 人の増加となり、社会減は、昨年の 83 人から拡大に転じた。

本市の市外との社会増加は、昭和 41 年以降一貫して社会減が続いており、昭和 50 年には最大の 24,571 人の転出超

過を示したが、昭和 61 年には 260 人のマイナスにまで回復した。しかしその後の社会減は、平成 6 年までは拡大へ動き、平成 7 年以降平成 10 年までは回復に向かっていた。今年は転出超過が拡大に転じたものの、昭和 41 年以降では過去 4 番目に低い数値となっている。

[附表 1-1、附表 4-1、図 4-1]

図 4-1 市外との社会増加及び転入数・転出数の推移



附表 4-1 区別転入数・転出数の推移

各年前年10月～当該年9月

区 別	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
転 入 数 (区 間 移 動 を 含 む)								転 出 数 (区 間 移 動 を 含 む)						
全 市	153,797	153,801	156,865	155,653	153,209	152,679	154,113	164,758	161,620	160,541	154,979	153,605	151,839	153,661
千種区	13,672	13,809	13,758	13,782	13,679	13,694	14,279	14,864	14,315	14,356	14,027	13,774	13,469	13,280
東 区	5,618	5,854	5,699	6,017	6,043	6,284	6,369	6,537	6,100	6,461	5,828	5,977	6,034	6,024
北 区	10,012	9,625	9,997	9,759	9,131	9,672	9,521	11,483	10,895	11,022	10,240	10,410	10,333	10,316
西 区	8,886	8,027	9,424	8,385	9,124	8,652	8,691	9,147	8,967	9,176	8,669	8,674	8,730	8,849
中村区	7,513	7,989	8,001	8,124	7,760	7,977	8,088	9,018	8,774	9,110	8,790	8,673	8,343	8,326
中 区	7,228	7,050	7,340	7,583	8,013	8,653	9,305	7,412	7,339	7,228	7,156	7,504	7,736	8,382
昭和区	8,965	9,347	9,795	9,598	9,599	9,112	9,522	9,918	9,421	9,373	9,166	9,152	9,291	9,385
瑞穂区	7,060	7,424	7,557	7,348	7,295	6,916	6,592	8,227	7,854	7,786	7,357	7,484	7,359	7,150
熱田区	4,914	4,906	4,899	5,445	4,654	4,322	5,190	5,377	5,350	5,332	5,111	4,905	4,753	4,776
中川区	11,489	11,140	11,458	11,034	11,197	11,637	11,729	11,791	12,062	11,782	11,453	11,280	11,321	11,423
港 区	8,385	8,521	8,026	7,981	7,969	7,903	7,986	8,696	8,573	9,020	8,347	8,548	8,194	8,620
南 区	8,390	7,879	8,463	8,489	8,037	7,901	8,290	10,291	9,973	9,806	9,493	9,154	8,831	8,911
守山区	9,550	9,655	10,244	10,264	10,196	10,654	10,235	10,429	10,569	9,885	9,726	9,719	9,303	9,497
緑 区	12,585	13,124	13,255	12,623	12,050	12,059	11,787	11,260	11,260	10,799	10,959	10,664	10,442	10,774
名東区	15,881	15,325	15,474	15,552	15,604	15,260	14,916	17,627	17,413	16,872	16,090	15,274	15,294	15,254
天白区	13,649	14,126	13,475	13,669	12,858	11,983	11,613	12,681	12,755	12,533	12,567	12,413	12,406	12,694
転 入 数 (市 外 の み)								転 出 数 (市 外 の み)						
全 市	91,864	91,669	94,988	96,288	94,323	94,168	95,488	104,070	100,574	99,803	96,638	95,814	94,251	95,929
千種区	8,734	8,833	8,871	9,117	8,831	8,972	9,234	9,324	9,135	8,869	8,862	8,724	8,487	8,431
東 区	3,030	3,153	3,217	3,239	3,363	3,524	3,525	3,609	3,359	3,496	3,069	3,127	3,158	3,170
北 区	5,671	5,562	5,812	5,802	5,369	5,829	5,749	7,185	6,609	6,686	6,233	6,352	6,308	6,411
西 区	5,350	5,043	5,926	5,566	5,858	5,662	5,769	6,145	5,931	6,118	5,769	5,778	5,716	5,836
中村区	4,702	4,992	4,997	5,370	4,958	5,159	5,030	5,349	5,397	5,369	5,412	5,126	4,899	4,966
中 区	4,315	4,038	4,175	4,585	4,958	5,513	6,114	4,044	3,858	3,816	3,856	4,110	4,363	5,030
昭和区	5,657	5,948	6,012	6,037	6,077	5,677	5,971	5,959	5,547	5,616	5,562	5,545	5,487	5,668
瑞穂区	4,053	4,020	4,260	4,094	4,088	3,790	3,767	4,344	4,205	4,127	3,984	4,086	3,928	3,858
熱田区	2,760	2,674	2,770	2,782	2,477	2,385	2,649	2,796	2,736	2,735	2,617	2,490	2,509	2,451
中川区	6,182	5,929	6,168	6,121	6,119	6,175	6,580	7,194	6,930	6,904	6,744	6,547	6,619	6,612
港 区	4,304	4,122	4,288	4,171	4,113	4,216	4,198	4,931	4,681	4,840	4,486	4,768	4,297	4,593
南 区	4,850	4,637	4,854	5,042	4,745	4,459	4,652	5,934	5,480	5,366	5,210	5,104	5,084	5,015
守山区	5,862	5,965	6,415	6,650	6,545	6,659	6,572	7,475	7,603	7,180	6,967	6,971	6,644	6,737
緑 区	6,943	7,391	7,477	7,541	7,241	7,279	7,148	7,893	7,605	7,456	7,457	7,302	7,156	7,353
名東区	11,377	11,015	11,274	11,404	11,426	11,010	10,992	13,409	13,213	12,811	12,152	11,629	11,560	11,559
天白区	8,063	8,344	8,472	8,762	8,155	7,859	7,538	8,479	8,285	8,414	8,258	8,155	8,036	8,239

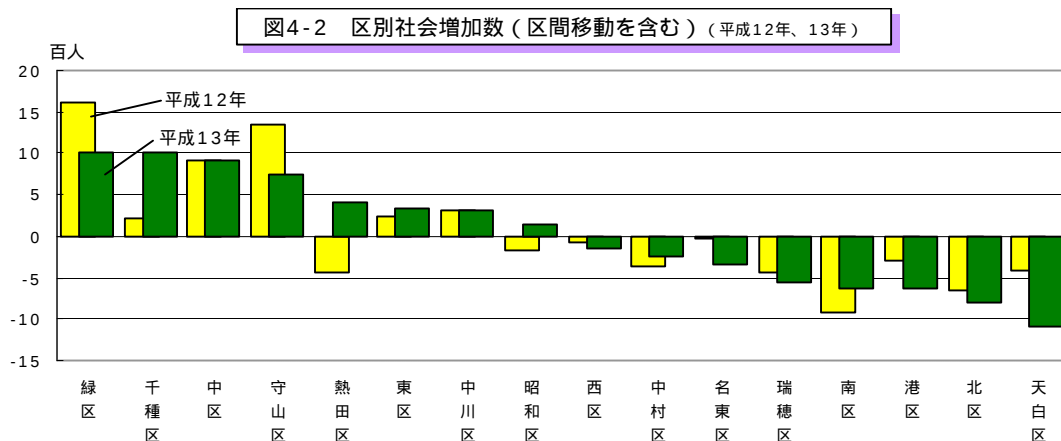
注) 総数にはその他増を含む。

市内区間移動を含む区別の社会増加をみると、緑区が1,013人と昨年より604人減少しているものの1千人台を維持しているが、千種区は昨年の225人から999人へと大きな増加を示している。社会増となったのは8区で昨年より2区増加し、昭和区と熱田区が転出超過から転入超過に転じている。北区、西区、瑞穂区、港区、名東区、天白区は転出超過幅に拡大がみられ、特に天白区の転出超過は昨

年の423人から1,081人へと拡大し、1千人台となった。

[附表4-2、図4-2]

一方市外との社会増加をみると、周辺区のほとんどが転出超過を示している。特に緑区は、市外へは205人の転出超過を示し、区間移動を含む社会増加数との間に1千人以上のギャップが生じており、市外より市内他区からの人口吸引力がより強いといえる。 [附表4-3]



附表4-2 区別社会増加数（区間移動を含む）の推移

区 別	各年前年10月～当該年9月												
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	-8,825	-9,538	-5,024	-6,198	-11,664	-13,796	-10,972	-7,822	-3,676	669	-396	840	452
千 種 区	-2,555	-2,658	-1,299	-1,731	-2,663	-1,904	-1,194	-507	-598	-245	-95	225	999
東 区	-989	-901	-738	-504	-874	-526	-919	-246	-762	189	66	250	345
北 区	-1,547	-1,146	-238	-155	-769	-1,740	-1,475	-1,270	-1,025	-481	-1,279	-661	-795
西 区	-1,067	-1,222	-1,477	-516	-1,145	-770	-263	-940	248	-284	450	-78	-158
中 村 区	-1,846	-1,887	-1,389	-983	-1,122	-1,276	-1,505	-785	-1,109	-666	-913	-366	-238
中 区	-510	-1,221	-489	-413	-786	-1,049	-184	-289	112	427	509	917	923
昭 和 区	-1,033	-843	-759	-474	-512	-1,176	-953	-74	422	432	447	-179	137
瑞 穂 区	-1,333	-917	-654	-1,267	-1,152	-1,592	-1,167	-430	-229	-9	-189	-443	-558
熱 田 区	-445	-424	-3	475	-567	-675	-463	-444	-433	334	-251	-431	414
中 川 区	-425	-166	374	-101	647	-214	-302	-922	-324	-419	-83	316	306
港 区	766	-501	-462	-211	-816	165	-311	-53	-994	-370	-579	-291	-634
南 区	-1,596	-1,291	0	-1,120	-1,394	-2,205	-1,901	-2,094	-1,343	-1,004	-1,117	-930	-621
守 山 区	-628	-940	428	520	14	219	-882	-914	359	538	477	1,351	738
緑 区	1,801	3,316	1,120	246	705	1,466	1,325	1,864	2,456	1,664	1,386	1,617	1,013
名 東 区	-581	-49	-309	-1,057	-1,837	-1,903	-1,746	-2,089	-1,398	-539	330	-34	-338
天 白 区	3,163	1,312	871	1,093	607	-616	968	1,371	942	1,102	445	-423	-1,081

附表4-3 区別社会増加数（市外のみ）の推移

区 別	各年前年10月～当該年9月												
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全 市	-9,157	-10,713	-6,222	-7,436	-12,757	-14,845	-12,206	-8,905	-4,815	-350	-1,491	-83	-441
千 種 区	-1,126	-1,281	-571	-319	-1,156	-986	-590	-302	2	255	107	485	803
東 区	-419	-456	-222	-224	-379	-266	-579	-206	-279	170	236	366	355
北 区	-1,484	-1,435	-1,008	-546	-1,291	-1,866	-1,514	-1,047	-874	-431	-983	-479	-662
西 区	-895	-964	-870	-655	-888	-882	-795	-888	-192	-203	80	-54	-67
中 村 区	-737	-997	-509	-364	-571	-620	-647	-405	-372	-42	-168	260	64
中 区	348	98	355	398	80	-99	271	180	359	729	848	1,150	1,084
昭 和 区	-189	-105	-34	170	-399	-486	-302	401	396	475	532	190	303
瑞 穂 区	-525	-374	-246	-505	-361	-746	-291	-185	133	110	2	-138	-91
熱 田 区	-127	-18	292	72	-535	-461	-36	-62	35	165	-13	-124	198
中 川 区	-742	-833	-418	-638	-535	-805	-1,012	-1,001	-736	-623	-428	-444	-32
港 区	-343	-664	-389	-443	-657	-613	-627	-559	-552	-315	-655	-81	-395
南 区	-485	-499	93	-632	-912	-1,216	-1,084	-843	-512	-168	-359	-625	-363
守 山 区	-1,523	-1,616	-581	-545	-1,391	-1,086	-1,613	-1,638	-765	-317	-426	15	-165
緑 区	-622	-21	-463	-1,232	-1,207	-1,121	-950	-214	21	84	-61	123	-205
名 東 区	-1,105	-1,441	-1,457	-1,708	-1,957	-2,411	-2,032	-2,198	-1,537	-748	-203	-550	-567
天 白 区	817	-107	-194	-265	-598	-1,182	-416	59	58	504	0	-177	-701

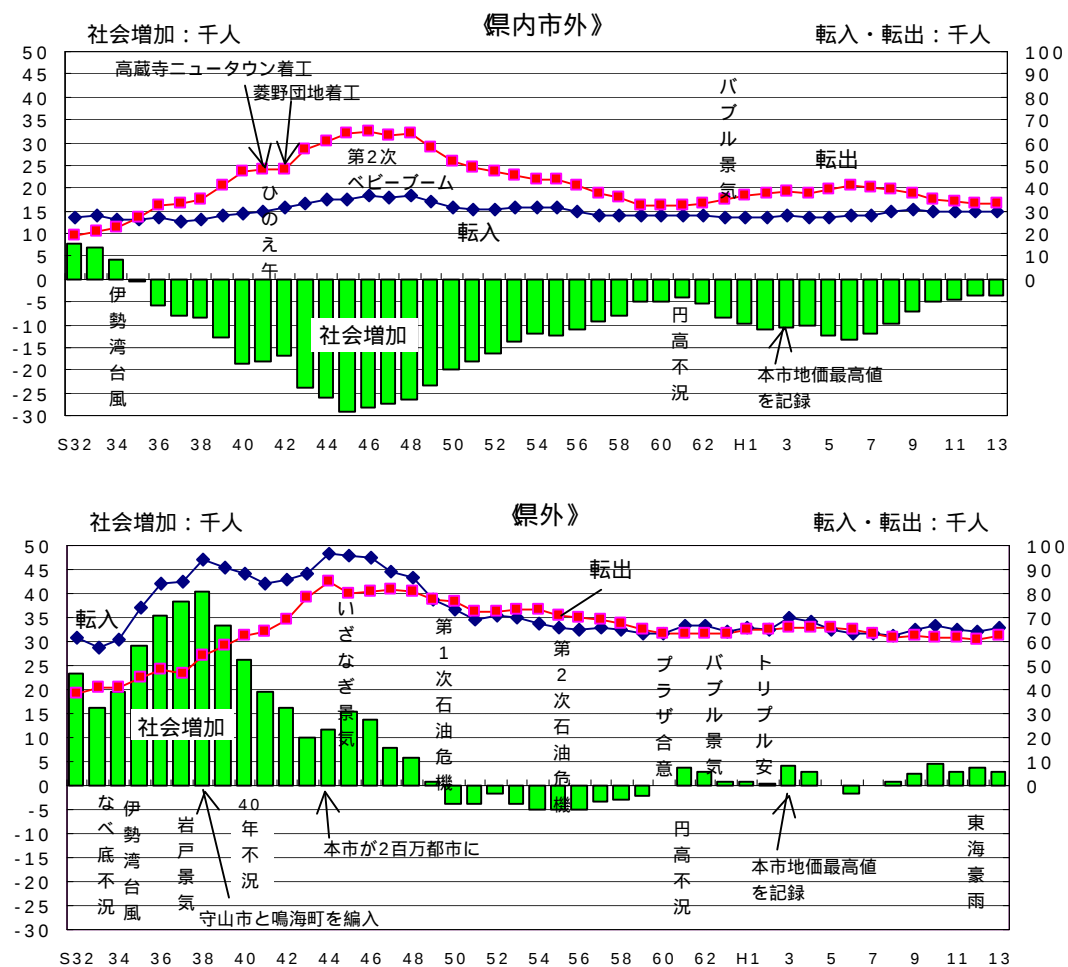
注）総数にはその他増を含む。

市外との社会増減を県内市外と県外に分けると、県内市外とは昭和 35 年以降、社会減の状態が続いているが、平成 7 年以降は、転出抑制の基調を受け、減の幅が狭まりつつある。県外とは、高度成長期までは大幅に社会増であったが、昭和 40 年代末期以降、転入と転出がほぼ拮抗して推移している。近年の市外との社会増減は、県内市外との社会増減に影響され易いといえる。

住宅に係る要因が強いと思われる県内市外との社会増減は、転出に影響され、就労に係る要因が強いと思われる県外との社会増減は、転入に影響されているものと考えられる。

[図 4-3]

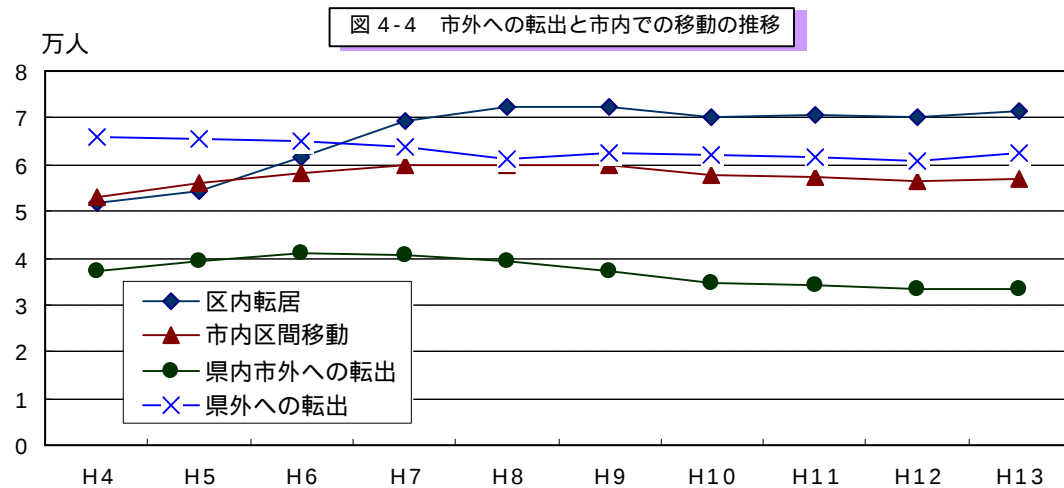
図 4-3 県外及び県内市外との社会増加及び転入数・転出数の推移



以上、人口の増減についてみてきたが、「人の移動」は、更に市内での移動の部分もある。図 4-3 を見ると、「人は動かなくなっている」という印象を受けるが、「現在市内に在住している人がどこに移動するか」という視点でみると、「人の移動先はより近距離が増えている」ということが判る。

平成 4 年以降、「市内区間移動」はほぼ横ばい、「県内市外への転出」は平成 6 年をピークに減少を続けているなかで、「区内転居」は平成 8 年まで増加した後横ばいに推移し、最も多い移動を示しており、「県外への転出」は緩やかに減少傾向にある。

[図 4-4]



利用上の注意

概要

この資料は「平成 13 年愛知県人口動向調査」の名古屋市分集計結果である。この調査は、直近の国勢調査の結果をベースにして毎月の出生、死亡、転入、転出などの異動数を加減することにより、人口及び世帯数の推計を行っているもので、今回は平成 12 年国勢調査の結果に基づき、平成 12 年 10 月～平成 13 年 9 月までの 1 年間の異動状況を取りまとめている。

地域区分

章で用いている地域は次の区分による。

- [北海道] 北海道
- [東北] 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- [関東] 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- [中部] 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、

岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

- [近畿] 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 - [中国] 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 - [四国] 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 - [九州] 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
 - [国外] 国外
- なお「愛知県」とは、名古屋市外の愛知県内市町村を示す。

世帯のとりえ方

昭和 55 年国勢調査において、会社等の独身寮、寄宿舎に居住する単身者についての世帯のとりえ方が、それまでの棟ごとにまとめて 1 世帯としていたものから、1 人 1 人をそれぞれ 1 世帯とするものになったため、時系列比較の際は注意を要する。

用語の解説

自然増加

「出生数 - 死亡数」により求める。出生数が死亡数より多いとき「自然増」、またその逆を「自然減」という。

社会増加

「転入数 - 転出数」により求める。転入数が転出数より多いとき「社会増」、またその逆を「社会減」といい、それぞれ「転入超過」、「転出超過」ともいう。

第 1 次ベビーブーム

昭和 22 年～24 年の高出生期を指し、この時期に生まれた世代をいわゆる「団塊の世代」という。

第 2 次ベビーブーム

昭和 46 年～49 年の高出生期を指し、この時期に生まれた世代は「団塊ジュニア」とも呼ばれる。

人口に関する指数等

- ・年少人口指数 = $\frac{\text{年少人口 (0～14歳人口)}}{\text{生産年齢人口 (15～64歳人口)}} \times 100$
- ・老年人口指数 = $\frac{\text{老年人口 (65歳以上人口)}}{\text{生産年齢人口 (15～64歳人口)}} \times 100$
- ・従属人口指数 = 年少人口指数 + 老年人口指数
- ・老年化指数 = $\frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$
- ・平均年齢 = $\frac{\sum Ci \cdot fi}{\text{総人口} - \text{年齢不詳人口}} + 0.5$
ただし、Ci ... 年齢 (0 歳、1 歳、2 歳、...)
fi ... i 歳の人口

$$\cdot \text{年齢中位数} = i + C \left(\frac{P/2 - F}{f} \right)$$

(人口を年齢順に並べて数え、ちょうど中央に当たる人の年齢)

ただし、i ... 中位数を含む年齢階級の下限值

f ... i 歳の人口

C ... 年齢階級

P ... 総人口 - 年齢不詳人口

F ... 0 歳～(i-1) 歳の人口

なお、統計表中の年齢中位数は年齢各歳別人口により算出しており、上記式では C = 1 となる。

人口動態統計

出生、死亡、婚姻、離婚等の実態を明らかにするために各届書等から作成された人口動態調査票を取りまとめたもので、いわゆる業務統計に該当する。従って人口動向調査とは集計方法が異なるため、出生数、死亡数等の数値は両者の間で一致はしない。

統計数値

- ・構成比等の内訳数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、その合計は総数と必ずしも一致しない。
- ・「0.0」は表章単位に満たない場合、「...」は不詳、「-」は該当数値のない場合を示し、増減数としてのゼロは「0」としている。